

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第86回）に係る面談
2. 日時：令和2年12月3日（木） 10時00分～11時50分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐

宇野課長補佐、横山係長、久川係員

福島第一原子力規制事務所

小林所長、坂本検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

本社10名、福島第一原子力発電所5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第86回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 組織改編後の状況と評価について
- 1号機PCVガス管理設備排気ファン全停に伴うLCO逸脱事象について
- 地震・津波対策の進捗状況について
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について
- 1号機原子炉注水停止試験結果について
- 福島第一原子力発電所敷地内の地下水モニタリングデータについて
- 実施計画変更認可申請「7項目」の補正申請について

○原子力規制庁より、上記説明、次回以降の検討会の議題等について、以下のとおりコメントした。

【組織改編後の状況と評価について】

- 組織改編における目的を明確にした上で、当該目的に対する組織改編の効果についての評価をまとめて反映すること。組織改編の効果の評価するために客観的な指標を用いている場合は当該指標について説明すること。

【1号機PCVガス管理設備排気ファン全停に伴うLCO逸脱事象について】

- 作業要領書を作成する過程において、協力会社との関係がわかるように東京電力が担う役割についての説明を追加すること。
- 原因の分析については、警報リセット操作を実施する際には緊急停止ボタンが設置されているスイッチBOXを扱わなければならなかった点が、リスクの洗い出しの際に考慮されていなかったことについて、説明を追加すること。
- 水素濃度の評価については、PCVガス管理設備が停止し、水素濃度の監視が欠測

していた期間における評価の扱いや実際の判断について説明を追加すること。

- 本事象については、これまでの不適合事象にも見られる共通要因や組織的要因等まで踏み込んで原因や対策などの分析を行うこと。また、当該分析結果を組織改編後の効果に対する分析にフィードバックすること。

【地震・津波対策の進捗状況】

- 次回、特定原子力施設監視・評価検討会までにインベントリの流出評価が確定する場合は提示すること。

【建屋滞留水処理等の進捗状況について】

- α 核種を含む建屋内滞留水の処理に関する今後の計画について、説明を追加すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会等に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 組織改編後の状況と評価について（案）
- 1号機 PCV ガス管理設備排気ファン全停に伴う LCO 逸脱事象について（案）
- 1号機 PCV ガス管理設備排気ファン全停に伴う LCO 逸脱事象について（案）

【コメントに対する追加説明】

- 地震・津波対策の進捗状況（案）
- 建屋滞留水処理等の進捗状況について（案）
- 1号機原子炉注水停止試験結果（案）
- 福島第一原子力発電所 敷地内の地下水モニタリングデータについて（案）
- 実施計画変更認可申請「7項目」の補正申請について
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）